

カテゴリ	タイトル	文書番号		
『SS3』	入力	基本事項	最下層以外の基礎形式について	1667
		計算ルート2-3で1次設計を行い、保有水平耐力まで計算したい	1664	
		保有水平耐力計算や限界耐力計算を行いたい	1659	
		限界耐力計算が指定できない	1455	
		各層梁天から部材心までの距離を“INPUT”の状態に戻したい	1454	
		[1基本事項-26.軸の追加]で追加軸までの距離が入力できない	1453	
		計算条件	床によるIの計算方法が指定できない	1459
		接合部の検討における柱有効せい係数の下限値について	1456	
		特殊形状	軸振れのフレームに平行な片持ち梁を入力したい	1668
		入力どおりの形状にセットバックしない	1631	
		下階はセットバックし、上階では柱が鉛直となる形状を入力したい	1460	
		ある階だけ隅切りをしたい	1457	
		使用材料	冷間成形角形鋼管を使用した場合の柱種別の指定について	1514
		フランジとウェブの鉄骨種別を変更したい	1513	
		荷重	積載荷重が登録できない	2109
		梁CMoQo算定の際、壁の取り扱いについて	1711	
		積載荷重の非歩行屋根、倉庫、書庫の参考文献について	1662	
		水平外力の直接入力指定できない	1512	
		水平外力の直接入力に入力する数値について	1511	
		土圧と水圧を同時に作用させたい	1510	
		風荷重を直接入力したい	1481	
		部材登録	壁や床の仕上重量の入力について	2112
		床のT.Lが入力できない	2086	
		小梁を同一方向に任意の間隔で4本以上入力する方法	2085	
		開口の登録について	1802	
		鉄骨鋼材	鉄骨鋼材登録に登録されていないサイズを使用したい	2110
		鉄骨鋼材の登録方法と、鉄骨鋼材ファイルの保存・読み込み方法について	1740	
		熱間成形角形鋼管(SHC)を使用する方法	1702	
		部材配置	L形床への床組(小梁)配置について	2089
		RC造建物に鉄骨ブレースを配置したい	2088	
		入力どおりに梁の結合状態が反映されない	2087	
		断面性能を直接入力した部材が配置できない	1632	
		登録数を増やすことはできますか？	1530	
		任意の箇所に部材が配置できない	1528	
		耐震壁にならない壁を強制的に耐震壁にする方法	1527	

カテゴリ	タイトル	文書番号		
『SS3』	(入力)	特殊荷重		
		各階補正地震用重量が指定できない	2111	
		節点補正重量が3000kNしか入力できない	2108	
		S部材に取りついた壁の剛域について	2092	
		フレーム外雑壁の仕上重量について	2091	
		フレーム外雑壁の距離を入力する際の基点について	2090	
		梁のCMoQoを0(ゼロ)にしたい	1665	
		特殊荷重タイプ11~13のパラメータP3について	1623	
		特殊荷重タイプ14で小梁本数が1本の場合の入力方法	1622	
		特殊荷重の取り扱いについて	1596	
		加力方向に直交する荷重を入力したい	1458	
		剛性	特定の荷重ケースでブレース軸力を負担させないようにしたい	2316
		片側(右上がりまたは右下がり)ブレースで引張のみ有効とする方法について	2317	
		剛域の入力について	2107	
		袖壁・腰壁・垂壁の有効断面の低減率について	1741	
		腰折れセットバックした柱に隣接する柱において、腰壁が配置されているのに剛域が生じない	1624	
		応力	[11.1 支点の状態]での回転バネ定数の入力単位[kNm/rad×10]について	2093
		多層にわたる柱に一樣なモーメント勾配(せん断力)が発生するように解析したい	1506	
		同一節点に荷重ケースごとで剛床仮定の解除を指定したい	1505	
		層間変形角算定時の階高について	1504	
		断面算定	寄筋としたときの鉄筋本数の入力について	2195
		柱脚耐力を考慮した場合のDs値の割増しについて	1748	
		転造ねじ[ABR]と切削ねじ[ABM]の指定について	1746	
		「柱脚形状を入力できません。」について	1745	
		柱符号と配筋で表示される“TuTd”や“TITr”について	1744	
		SRC部材で鉄骨のみを選定したい	1743	
		選定計算の結果読込で2段筋配筋にならない	1742	
		jtWの入力箇所について	1705	
		SRC造柱の柱脚をRC造にしたい	1666	
		F10T以外の高力ボルトを指定したい	1663	
		耐震壁の断面算定を一部省略したい	1661	
		壁や床の配筋を入力したい	1660	
		同一層(階)で配筋をコピーしたい	1636	
		符号No.の横に表示される“*”について	1635	
		スーパーハイベースの配置方向の指定について	1634	
		符号名を変更したい	1633	

カテゴリ	タイトル	文書番号		
『SS3』	(入力)	(断面算定)	符号名称の初期設定について	1625
		応力値の直接入力 of 符号(+、-)について	1595	
		設計用応力の割増しを複数指定した場合の計算について	1594	
		接合部の断面算定を一部省略したい	1524	
		X方向とY方向で柱主筋径が異なる場合の入力方法について	1520	
		基礎柱のhについて	1519	
		コンクリート・ベースプレート破断の検討が指定できない	1518	
		S造露出柱脚の場合のアンカーボルトのF値の採用について	1517	
		柱脚形状を入力したときのバネ定数の入力について	1516	
		ジョイント位置までの距離を入力する際の基点について	1515	
		[設計用応力の割増し]の[方向別]または[階とフレーム]の項目を初期化(未入力)する方法	1508	
	保有水平耐力	増分解析でPH階の影響を考慮したくない	1685	
		水平外力を直接入力したい	1747	
		局部崩壊で耐力低減せずに解析する方法	1550	
		軸力の影響を受けない柱の曲げ耐力の入力方法について	1549	
		Mc算定式の係数について	1548	
		基準強度の割増し率を入力したい	1547	
		垂・腰・袖壁の配筋が入力できない	1546	
		スラブ筋の入力方法について	1545	
		ヒンジ発生位置を指定したい	1523	
		一方向のみ保有水平耐力を計算したい	1522	
		剛性低下率が転送されない部材がある	1521	
		[14限界耐力計算 & 保有水平耐力関連データ]が指定できない	1503	
		[14.2.1計算条件-2.終局耐力-RC梁・柱Quの算定式]で“靱性指針式”を指定した場合の高強度せん断補強筋の認識について	1461	
		マウス入力	床組の一部を吹き抜けにすることができない	1713
			床・小梁の自動設計で床の断面検定結果が出力されない	1712
			マウス入力の部材ウィンドウが表示されない	1701
			軸振れの入力方法について	1655
	鉄骨の柱形状や向きを変更したい		1654	
	小梁を均等配置からスパン配置に変更したい		1653	
	アイコンを画面上に表示させる方法		1652	
	片持ち床を一度に配置したい		1651	
	壁の表示色が異なる		1650	
スリットが入力できない	1649			
特殊荷重登録で入力済みにならない	1648			

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『SS3』	(入力)	(マウス入力)	マウス入力耐震壁にならない壁を強制的に耐震壁にする方法	1647
		屋根面風力係数が入力できない	1646	
		開口データをコピーして配置したい	1645	
		多スパンにわたる床組の入力方法	1644	
		積雪荷重を考慮する床の入力方法	1643	
		基準階で柱符号が“*”と出力される	1642	
		鉄骨小梁の配置方法について	1641	
		床組が赤く表示される	1640	
		フレーム外雑壁が赤く表示される	1639	
		間違っって消したものを元に戻したい	1638	
		特殊荷重が配置できない	1637	
		CSV入力	CSVファイル入出力の機能で新規データを作成する方法について	1716
	その他	K型プレースの入力方法	1750	
		風荷重に吹き上げを考慮したモデル化について	1749	
		RC2次部材データ作成ができない	1706	
		BF1の解析結果を読み込む方法	1657	
		地中梁を配置していない架構で柱脚バネ定数が考慮されない	1656	
		S部材とSRC部材の鉄骨種別を個別に指定したい	1630	
		壁ごとに異形鉄筋と丸鋼を使い分けたい	1629	
		[断面リスト編集]でS梁の端部断面を変更しても[マウス入力]の梁リストに反映されない	1628	
		[13.10BF1の利用方法]が開けない	1627	
		柱脚のバネ定数について	1626	
		保有水平耐力計算時において、特定のフレームを解析したくない	1598	
	スクラップ寸法を個別に指定したい	1529		
	作図と入力画面を同時に表示したい	1482		

カテゴリ	タイトル	文書番号		
『SS3』	計算	剛性	剛性計算 鉄筋による剛度増大率 ϕ_w 、 ϕ_A の算出方法について	2268
		S部材のせん断剛度増大率が1.00未満になる	2225	
		ハンチ部材の各計算について	2209	
		協力幅の計算における小梁の考慮について	1904	
		床を考慮したS梁の剛性計算について	1903	
		S造ハンチ梁のA・Iの計算方法について	1902	
		柱の剛性計算における直交壁の考慮について	1901	
		SRC(RC)柱にS梁が取り付く場合の袖壁の考慮について	1900	
		スリットを設けた壁に取り付く梁に剛域が考慮される	1682	
		柱・梁の部材剛性に考慮する袖壁・腰壁・垂壁の認識について	1680	
		剛比の計算方法	1679	
		吹き抜け部分に接する梁に床による剛度増大率が考慮されている	1621	
		12cm以上の壁厚で無開口なのに耐震壁と判定されない	1620	
		荷重	大梁自重の計算において、大梁と片持ち床との重複分の取り扱いについて	2248
		部分地下の形状でべた基礎とした場合の接地圧の考慮について	1906	
	概算軸力の総和と接地圧の軸力の総和が異なる	1905		
	節点重量表のフレーム外雑壁の重量について	1868		
	斜材に作用する特殊荷重の方向について	1836		
	小梁上に配置したフレーム外雑壁の荷重伝達について	1780		
	建物の外側に配置したフレーム外雑壁の荷重伝達について	1721		
	L型の床の荷重伝達について	1720		
	概算軸力の W/A の床面積の計算について	1719		
	フレーム外雑壁の自重を計算する際の高さについて	1718		
	片持ち床の先端に配置したフレーム外雑壁の荷重伝達について	1714		
	断面性能直接入力した部材の自重について	1708		
	柱の回転と特殊荷重の方向について	1684		
	べた基礎で、片側土圧入力時の接地圧の計算について	1683		
	地震力	地震力の地震層せん断力係数 C_i が0.2未満になっている	1722	
	地震力 地震層せん断力(一次設計用) Q_{i1} の算出方法について	1569		
	風・積雪	風荷重(k_z 、 W)の算出方法について	2269	
	風荷重が手計算と一致しない	1888		
	屋根勾配による積雪荷重の低減について	1844		
	風荷重の計算におけるパラペットの認識について	1724		
	$H > Z_b$ かつ $Z > Z_b$ となる場合の k_z の計算方法	1723		
	壁配置がない箇所の風荷重を受ける見付面積について	1709		

カテゴリ		タイトル	文書番号		
『SS3』	(計算)	応力解析	連層耐震壁の最上層で節点の上下移動を指定すると想定する応力状態にならない	2253	
			柱と梁の構造種別が異なる場合の仕口パネル変形の考慮について	2006	
			ブレースが取り付く支点の支点反力について	2005	
			部分地下の地盤に伝わるせん断力(軸力の比)の計算方法	2002	
			S造、CFT造の仕口パネルの形状認識について	1962	
			100番柱(ダミー柱)の有無で応力が異なる	1907	
			柱脚に回転パネを入力したのに、柱脚の曲げモーメントが0(ゼロ)となる	1870	
			地震時における土圧による水平力について	1710	
			相持ち梁の端部の曲げモーメントが0(ゼロ)となる	1699	
			折れ曲がるフレームの曲げモーメントの釣合いの算出方法について	1567	
			水平力分担 セットバックした柱の Q_c 、セットバックした壁の Q_w の算出方法について	1566	
			部分地下形状の逆向きの水平力 P' の算出方法について	1554	
			ルート判定	冷間成形角形鋼管で、柱の耐力計算に用いる軸力比 n の存在軸力	1918
				開口がある場合の A_w の計算について	1910
	スリットを設けた壁の壁量の計算について	1909			
	壁量柱量の α の計算方法	1908			
	剛心位置が建物の外に出てしまう	1894			
	「変位量」の水平変位と「剛性率・層間変形角」の層間変位が異なる	1893			
	柱はり耐力比の検討における最上階の取り扱いについて	1890			
	A_w 、 A_w' に算入する壁の条件について	1866			
	CFT柱を用いた場合の柱量(A_c)について	1862			
	剛床仮定の解除を指定したが重心位置がほとんど変わらない	1752			
	「剛性率・層間変形角」の層間変形角と「水平力分担」の層間変形角の値が異なる	1737			
	フレーム外雑壁が偏心率、剛性率に考慮されない	1700			
	断面算定	SRC梁断面算定 鉄骨部分の短期許容曲げモーメント sM 短の算出方法について		2279	
		SRC柱断面算定 鉄骨部分のせん断負担割合 sM/M の算出方法について		2280	
		SRC梁断面算定 RC部分の釣合軸力 rNb の算出方法について	2281		
		SRC柱断面算定 十字形鉄骨断面の断面係数 sZ の算出方法について	2282		
		SRC梁断面算定 鉄骨部分のせん断負担割合 sM/M の算出方法について	2283		
		SRC柱断面算定 RC部分の設計用せん断力算定用曲げモーメント $rMud$ の算出方法について	2284		
		CFT柱断面算定 鉄骨部分のせん断負担割合 sM/M の算出方法について	2285		
		1/4位置の曲げモーメントの算出方法について	2270		
		S梁断面算定 仕口の fb (すみ肉溶接)の算出方法について	2271		
		S梁断面算定 横補剛の検討方法について	2272		
		S柱断面算定 H形鋼の断面係数 Z の算出方法について	2273		

カテゴリ	タイトル	文書番号
『SS3』	(計算) (断面算定) RC柱断面算定 方向別に材料強度が異なる場合の設計atの算出方法について	2274
	2段配筋とした場合の鉄筋重心位置dtの算出方法について	2275
	RC梁の断面算定 短期時のせん断スパン比による割増し係数 αS の算出方法について	2276
	RC柱断面算定 二軸曲げを考慮した許容曲げ応力判定結果の算出方法について	2277
	RC接合部断面算定(Ds算定時応力を用いる) Mb1、Tu、Qcuの算出方法について	2278
	付着の検討で σ_y を考慮した検討を行う方法について	2054
	剛域端が梁・柱面よりも節点側にあるときの応力採用位置	2167
	S梁の組合せ応力度の検討式について	2140
	仕口部溶接継目の式について	2139
	一本部材の指定をした部材の中間に部材が取り付く場合の横補剛間隔の認識について	2138
	柱脚の設計におけるブレースの負担軸力の考慮について	2137
	多スパンに互る梁の横補剛の認識について	2136
	QAを計算する際のdtについて	2135
	内法が指定した値にならない	2134
	ハンチ端の断面算定について	2106
	鉄骨のZがカタログの値と一致しない	2105
	S梁の断面算定において、端部・中央部でZが同じ値となる	2102
	SRC造の建物に高強度せん断補強筋を入力した場合の取り扱い	2101
	片持ち小梁は横補剛材として自動認識される？	2100
	端部と中央部で鋼材種別が異なる場合の添板の鋼材種別について	2099
	2段筋とした場合の鉄筋重心位置の計算方法	2098
	端部と中央部で鋼材種別が異なる場合の横補剛の検討について	2097
	梁端部の断面算定に中央部の配筋が採用されている	2096
	柱の主筋を断面積入力した場合の a_g の計算方法	2095
	梁の各断面算定位置におけるMLの計算方法	2094
	二軸曲げを考慮した鋼管(丸鋼)の短期 σ_b/f_b について	2070
	SRC柱で柱脚をRCとしたときの断面算定について	2004
	耐震壁の断面算定で P_s を縦筋で算定している	1961
	RC造梁のMAが手計算と異なる	1960
	柱脚がバネ接合時の座屈長さ係数について	1917
	基礎梁の追加応力を直接入力すると、断面算定位置における地震時の曲げモーメントが手計算と異なる	1892
	SRC梁の sM 短が手計算と異なる	1891
	STKR材を使用した場合の柱脚部の断面算定位置の応力について	1887
	SRC梁の継手位置のせん断力について	1886
	断面算定の中央の応力が、応力図の中央の値と異なる	1885

カテゴリ	タイトル	文書番号		
『SS3』	(計算)	(断面算定)		
		ルート1-2におけるS造柱脚の地震時応力の割増しについて	1884	
		S部材の部材ランクについて	1883	
		壁筋で鉄筋種別が異なる場合について	1865	
		引張側アンカーボルト本数をゼロとした場合の柱脚バネ定数の計算について	1864	
		アンカーボルト検討式を“鋼管構造設計施工指針”とした場合の許容応力度の検討について	1863	
		柱の主筋断面積が手計算と一致しない	1753	
		耐震壁の断面算定結果に出力されるQEが「部材応力図」と異なる	1736	
		大梁の最大たわみの検討において最下層の梁が検討されない	1735	
		節点変位と大梁の最大たわみの検討におけるたわみ量が異なる	1734	
		ルート1-2におけるS造梁の幅厚比の検討について	1687	
		ルート1-2におけるS造梁の横補剛の検討について	1686	
		断面が小さい部材の断面算定結果が出力されない	1617	
		S造鋼材選定で選定された結果が出力されない	1611	
		SRCの鉄骨選定で指定した鉄骨断面より小さい断面が選定される	1608	
		横補剛を直接入力した場合の小梁の認識について	1599	
		S柱断面算定における f_b 、 f_w の算出方法について	1563	
		S造露出柱脚 コンクリート破壊防止、せん断破壊防止の検討の算出方法について	1562	
		RC造梁の短期許容曲げモーメントMAの算出方法について	1561	
		S造柱脚の応力割増率 γ の算出方法について	1558	
		RC梁断面算定の設計用せん断力QDの算出方法について	1557	
		露出柱脚の回転バネ定数KBSの算出方法について	1555	
		大梁の最大たわみ δ の算出方法について	1553	
		S梁の断面算定のZの算出方法について	1552	
		接合部	Ds算定時応力を用いた接合部終局強度設計のMb1について	1965
		接合部の検討における梁ハンチの考慮について	1914	
		柱崩壊となるRC接合部の有効せいDjについて	1911	
		柱崩壊となる場合のTuの計算方法について	1879	
		Ds算定時応力を用いたSRC接合部のjMDの計算方法	1845	
		終局強度を用いたRC接合部断面算定における Tu、Mb1、Qcuの算出方法について	1565	
		RC接合部断面算定における軸振れのあるときのTu、Mb1、Qcuの算出方法について	1560	
		保有水平耐力	[5.6地震層せん断力係数及び水平震度の直接入力-2.保有耐力用]を指定しましたが、外力分布が変わらない	2252
		Q- δ 曲線が乱れる	2172	
		耐力壁の曲げ降伏について	2258	
		保有水平耐力計算 重心位置の層間変位の算出方法について	2287	
浮き上がりが発生したステップで解析を終了させたい	2147			

カテゴリ	タイトル	文書番号		
『SS3』	(計算)	(保有水平耐力)		
		保有水平耐力 基礎の圧壊で解析が止まらない	2146	
		塑性率(部材)について	2113	
		外力の作用角度を入力した場合の層間変形角について	1959	
		セットバックにより台形となった壁の κ について	1916	
		セットバックにより台形となった壁の Q_u について	1915	
		耐震壁の曲げ降伏時の剛性低下について	1882	
		連スパン耐震壁の終局せん断耐力 Q_u について	1881	
		CFT柱のパネル耐力 M_{ppil} について	1880	
		連スパン耐震壁の κ について	1878	
		袖壁付き柱の Q_u について	1877	
		一本部材の指定をした場合の解析について	1876	
		高強度せん断補強筋の材料強度	1875	
		スーパーハイベースを使用した場合の保有耐力接合の判定について	1873	
		横補剛の検討でNGとなる部材が存在するのに部材群種別がDとまらない	1869	
		柱の終局耐力計算時の外部袖壁の考慮について	1727	
		[8.8基礎自重]で入力した基礎自重は、保有水平耐力計算時に考慮されるか?	1597	
		D_s 算定時の曲げ塑性率の算出方法について	1556	
		「部材群の種別」に表示される“*”について	1540	
		増分解析中に浮き上がり(または圧壊)が生じた場合の処理について	1501	
		耐震壁の P_{whmax} (P_{smax})が変更されない	1489	
		増分解析において浮き上がりが考慮されない	1486	
		冷間角形鋼管で局部崩壊メカニズムと判定された場合の検討方法について(告示第594号第4第3号口)	1475	
		必要保有水平耐力	部材種別 未崩壊部材の余裕度による破壊モード判定の算出方法について	2286
			RC柱部材種別判定時の h_o の採用について	1850
			幅厚比が手計算と一致しない	1849
			「破壊形式」と「部材種別フレーム図」で崩壊形が異なる	1733
			部材種別パラメータ $2M/QD$ の算出方法について	1570
		せん断設計	せん断設計 梁の Q_M 、 M/Q_d の算出方法について	2288
			「必要 P_w 再計算」と「 Q_u/Q_m 」の判定が異なる	2003
			「必要 P_w 再計算」や「終局せん断耐力の再計算」に出力される耐震壁の M/QD について	1704
			「必要 P_w 再計算」や「終局せん断耐力の再計算」に出力される Q_M について	1703
			耐震壁の M/QD の算出方法について	1568
			「7.4せん断設計—必要 P_w 再計算」の QD の算出方法について	1559
		部材耐力計算	高強度せん断補強筋で存在しない径を指定している場合の計算について	2184
			開口によって雑壁と判定された壁が取り付く部材の耐力について	2178

カテゴリ		タイトル		文書番号
『SS3』	(計算)	(部材耐力計算)	S梁Muが手計算と異なる	1958
			S造柱・梁Mu算定時のスカラップの考慮について	1913
			S梁Mu算定におけるカバープレートの考慮について	1912
			ハンチ部材の端部Muを求める際の断面について	1590
		その他	架構の不静定次数が低い建築物の検討について(告示第594号第2第3号口)	1874
			ウルボン新評定への対応について	1658
			異なる梁せいが混在する場合の梁天から部材心までの距離の算出方法について	1564
			『SS2』と『SS3』の解析結果の違いについて	1551

カテゴリ	タイトル	文書番号		
『SS3』	出力	準備計算	アンボンドブレースの制振タイプの剛性倍率(ϕA)が1.00になる	2243
		地震力の $Q_{i1} > \text{水平力分担の} \Sigma Q$	2141	
		梁自重が負値になる	2115	
		一次固有周期 T を直接入力したが反映されない	1920	
		節点の上下移動をした場合、梁 Q_0 と節点重量が異なる	1867	
		耐震壁のせん断耐力低減率の確認方法	1731	
		壁を配置していないのに、 ϕ_w が1.0以上となる	1730	
		特殊荷重・片持ち床・片持ち梁を入力していないのに、結果出力「地震用重量」の“特殊荷重”に数値が出力される	1729	
		隅切り部分の床に取り付く梁の ϕ_{II} について	1728	
		地震用重量の合計値と、節点毎の地震用重量の合計値が異なる	1726	
		水平外力を直接入力したが、地震力に入力値が出力されない	1725	
		べた基礎とした際の接地圧を確認したい	1697	
		応力結果	床ブレースの軸力を確認したい	2127
		仕口パネル応力の確認方法について	2126	
	仕口パネルが考慮されない	2125		
	梁の軸力を確認したい	2124		
	梁の結合状態をピン接合にしているのに応力が発生する	2123		
	硬質地盤上の基礎における地中梁の応力について	2122		
	RC梁断面算定に出力される αS の計算方法について	2104		
	腰折れありのセットバック柱の Q について	2009		
	水平力・重心位置の P_x と水平力分担の ΣQ が異なる	2008		
	水平変位の値が各層で1つしか出力されない	2007		
	多スパンに互る梁の応力値が2部材のように出力される	1963		
	ブレース構造で概算軸力と長期軸力の値が異なる	1923		
	重心位置が異なる	1922		
	特殊荷重タイプ“-4”で入力した場合の応力について	1921		
	部材応力図に支点反力が出力されない	1858		
	ブレース架構の応力割増しがされていない	1857		
	節点周りの応力が釣り合わない	1739		
	積雪荷重時の応力値がすべて0(ゼロ)になる	1732		
	梁の水平面内応力の確認方法について	1693		
	応力まとめ	地震力の値と水平力分担の ΣQ が異なる	2133	
	水平力分担で Q_c の値が異なる	2132		
	偏心距離の値が手計算と一致しない	2131		
	多剛床を指定した建物のルート判定について	2130		

カテゴリ	タイトル	文書番号		
『SS3』	(出力)	(応力まとめ)	「柱せん断力と荷重重量の割合 (Q_c/G_iW)」におけるWについて	2129
		延べ床面積について	2128	
		設計応力図で直交加力時の応力図が出力される	2103	
		多剛床を指定した建物の「偏心率」、「剛性率・層間変形角」を剛床ごとに出力したい	2010	
		冷間成形角形鋼管の地震時応力割増しの確認方法	1966	
		スパン長が6メートル以上なのにルート判別表でルート1-1が○となる	1860	
		耐力壁水平力負担が50%を超える場合の応力割増率の確認方法	1859	
		鉛直荷重時で基礎梁の設計応力が釣り合わない	1766	
		「浮き上がりのチェック」が出力されない	1698	
		偏心率や剛性率の出力に<雑壁を考慮した場合>の結果が出力されない	1689	
		柱はり耐力比に出力される梁 M_p が手計算と異なる	1688	
		S造ルート1の G_o について	1672	
		ルート自動判定について	1670	
		「柱はり耐力比」が出力されない	1619	
		多雪区域とした場合の各出力項目における柱軸力について	1525	
	水平力分担が異なる	1462		
	断面算定	1本部材を指定した柱で下階の柱が出力されない	2179	
		付着の検討(RC規準1999)で σ_y が指定した値となっていない	2246	
		大梁たわみの検討結果が全部材出力されない	2177	
		結合状態の異なる柱で座屈長さが同じ値になる	2150	
		入力 a_t と設計 a_t が異なる	1889	
		配筋リストが出力されない	1861	
		Q-TYPが出力されない	1856	
		出力形式“代表”で出力する部材について	1855	
		柱脚の終局時の検討結果を出力する方法	1696	
		柱の断面算定で中央部を出力する条件について	1690	
		鉄筋重心位置 d_t が自動計算した値で出力されない	1618	
		継手の設計で、継手 M_u 、 Q_u の後に出力される記号の意味について	1616	
		RC造、SRC造大梁のたわみの検討結果が表示されない	1615	
		「WARNING No.577 短期の設計軸力が限界軸力を超過している」が出力されない	1614	
		横補剛の検討結果が出力されない	1613	
		柱に横補剛を入力しても座屈長さが変わらない	1612	
		断面算定位置が変わらない	1610	
		SRC柱断面算定で sM/M の値が手計算と異なる	1609	
		スーパーハイベースを使用した場合に入力した F_c が反映されない	1607	

カテゴリ	タイトル	文書番号	
『SS3』	(断面算定)	両端ピンの梁における座屈区間端部の曲げモーメントによる修正係数Cについて	1606
		SRC柱の断面算定結果に、sM/Mが出力されない	1605
		柱頭・柱脚ピン接合時の柱座屈長さ	1604
		鋼管の断面算定出力で、直交方向の応力度の検討が出力されない	1603
		RC梁を選定計算した場合でケースに出力されるPについて	1602
		SRC柱の断面算定結果で、鉄骨部材の許容曲げモーメントが0(ゼロ)になる	1601
		「※鉄骨断面を変更している。」について	1586
		混合構造でRC部材が配置できない	1585
		「※コンクリート断面を変更している。」について	1584
		断面算定結果が出力されない	1509
		耐震壁・鉄骨ブレース・柱脚の断面算定結果を代表部材としたい	1507
	接合部	接合部の断面算定に出力される“X1”“X2”“Y1”“Y2”について	1600
		Ds算定時応力を用いた接合部終局時の検定結果が出力されない	1544
		Ds算定時応力を用いた接合部終局時の検定の崩壊形が“?”で出力される	1543
		直交梁の有無による係数φについて	1542
		RC接合部のQculについて	1541
	保有水平耐力計算	各節点における柱梁パネル耐力	2226
		「終局せん断耐力の再計算」で、(Qu-Qo)/QMの値について	2251
		Q<Quの部材が、部材種別パラメータでせん断破壊となる	1537
		水平反力RXがフレームごとで同じ数値になっている	2217
		ΣCMu/ΣGMuの出力の“*”について	1539
		柱の部材種別で全てのパラメータがFAにもかかわらずFCとなる	1538
		終局耐力表に出力されるQu(B)について	1536
		支点反力に出力される“RY”、“RM”、“RX”について	1535
		「必要Pw再計算」で“耐力式に塑性理論式を採用している”と出力される	1534
		部材群種別でA→Dが出力される	1533
		柱の部材種別パラメータでPtが出力されない	1532
		STKRを使用した場合の保有耐力時の柱梁耐力比について	1531
		直交方向フレームの保有水平耐力結果を出力したい	1500
		クライテリアのチェックに出力される“C.K”の意味	1499
		CFT柱のQuが出力されない	1498
	せん断破壊していないのに、必要Pw再計算で“要補強”と出力される	1497	
	「必要Pwの結果一覧」で必要Pwが出力されない	1496	
	メカニズムの判定結果について	1495	
	種別が出力されない部材がある	1494	

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『SS3』	(出力)	(保有水平耐力計算)	耐震壁のせん断耐力式におけるM/QDの確認方法	1493
			RC部材のせん断破壊防止の検討について(告示第594号第4第3号ハ)	1491
			破壊形式で“浮上り”と表示されない	1490
	その他		土圧・水圧の梁負担分を確認したい	2304
			せん断設計でNGIになっている箇所を簡単に確認する方法について	2250
			床の協力幅の確認方法について	2235
			柱梁耐力比の崩壊形を確認したい	1872
			終了時メッセージが出力されない	1854
			ヘッダーに“計算途中”と出力される	1853
			許容付着応力度 f_a と f_b の違いについて	1695
			1次設計時の支点の水平反力を確認したい	1694
			積雪荷重の重量を確認したい	1691
			未崩壊部材の余裕度による破壊モード判定における曲げ余裕度 α M、せん断余裕度 α Qの値を確認したい	1589

カテゴリ	タイトル	文書番号	
『SS3』	ERROR メッセージ	WARNING No.807 $\beta_u \leq 0.7$ でRC造FD柱がある	2121
		ERROR No.743 一次設計で弾塑性解析を行っている	2116
		ERROR No.102 この製品は適用できません	2012
		ERROR No.741 層間変形角は、各フレームの平均を採用している	1840
		ERROR No.740 CFT柱を配置している	1839
		ERROR No.736 ルート3でせん断設計を満足しない部材がある	1838
		ERROR No.733 柱脚で、設計用応力度が許容応力度を超えている部材がある	1837
		ERROR No.712 指定された設計ルートを満足していない	1801
		ERROR No.711 多剛床として地震力計算および応力解析をしている	1800
		ERROR No.710 梁柱の振り剛性を考慮した応力解析をしている	1799
		ERROR No.704 部分地下になっている	1798
		ERROR No.701 混合構造となっている	1797
		ERROR No.234 上下階の柱高さの和の1/2が梁せい以下となっているため計算できません	1796
		ERROR No.233 柱QDが計算されていません	1795
		ERROR No.230 配筋されていないため計算できません	1794
		ERROR No.213 継手位置が部材長を超えて指定している	1793
		ERROR No.206 円柱で全主筋本数が8本以上入力していない	1792
		ERROR No.192 柱にSTKR材を用いていますが、柱はり耐力比 ≥ 1.5 を満足していません	1791
		ERROR No.191 層間変形角が制限値を超えている為、計算ルートが自動判定できません	1790
		ERROR No.179 不安定架構のため、計算できません	1789
		ERROR No.178 柱軸変形用の剛域が柱の全域に互っている	1788
		ERROR No.177 計算上分割した柱の全域が剛域になっている	1787
		ERROR No.176 計算上分割した梁の全域が剛域になっている	1786
		ERROR No.122 柱・剛域の柱脚と柱頭の和が部材長を越えている	1785
		ERROR No.121 梁・剛域の左端と右端の和が部材長を越えている	1784
		ERROR No.103 コンクリート F_c が適用範囲外です。製品の仕様を確認してください	1783
		ERROR No.93 壁長さが0になっている	1782
		ERROR No.92 梁の部材長が0になっている	1781
		ERROR No.50 片側セットバックによって平行移動する梁の取り付けが不正です	1779
		ERROR No.31 片持ち梁の未登録部材が配置されている	1778
		ERROR No.21 増分解析を不正終了します(###Step)	1777
		ERROR No.16 一本の柱でセットバックの組合せが認識できない	1776
		ERROR No.9 柱の内法長さが0以下になっている	1775
ERROR No.8 梁の内法長さが0以下になっている	1774		
ERROR No.7 多スパンに互る床の中に柱が配置されている	1773		

	カテゴリ		タイトル	文書番号
『SS3』	(ERROR)	(メッセージ)	ERROR No.5 部材登録データNo.###で、鉄骨ブレースの断面性能が登録されていない	1772
			ERROR No.3 多スパンに互る床の形状No.が同じでない	1771
			ERROR No.2 ベースプレートの入力値が不正です	1770
			BF1の計算結果データに対象となる基礎梁データがありません	1769
			断面性能を直接入力した部材を用いて保有水平耐力計算をしたい	1768
			水平外力を直接入力するとエラーが出力される	1767
			ERROR No.192 柱にSTKR材を用いていますが、柱はり耐力比 ≥ 1.5 を満足していません	1478
		その他	Windows7で解析を行うと「ERROR HAPPENED!! Error***.EXE」のエラーが発生する	2188
			[12.4 柱符号と配筋]を選ぶとエラーが発生する	2158
			マウス入力の起動時にエラーが発生する	2157
			荷重計算でエラーが発生する	1852
			ERROR HAPPENED!! Error***.EXE	1848

カテゴリ	タイトル	文書番号
『SS3』	WARNING	—
	WARNING No.496 応力用特殊荷重データのパラメータが不正です。	2166
	WARNING No.812 ルート3の柱脚の検討で設計フローの条件を満たしていません	1835
	WARNING No.360 ハンチ端の幅、せいが中央の幅、せいよりも小さい	2220
	WARNING No.823 採用している設計ルートで、壁量・柱量の確認におけるAwが0となっている。	2176
	WARNING No.655 必要ウェブ厚が柱のウェブ厚を超えている	2120
	WARNING No.657 接合部において軸振れが生じている	2119
	WARNING No.556 Ptが2.00%を超えている	2118
	WARNING No.751 塔状建物(H/B>4)となっている	2117
	WARNING No.661 付着長さが必要付着長さに部材有効せいを加えた長さを下回っている(端部・中央)	1899
	WARNING No.661 付着長さが必要付着長さに部材有効せいを加えた長さを下回っている(通し配筋)	1898
	WARNING No.661 付着長さが必要付着長さに部材有効せいを加えた長さを下回っている	1897
	WARNING No.605 横補剛間隔が構造計算指針(センター指針)の制限値を満たしていない(端部に横補剛を設ける方法)	1896
	WARNING No.605 横補剛間隔が構造計算指針(センター指針)の制限値を満たしていない(等間隔で横補剛を設ける方法)	1895
	S造ルート1-2で「WARNING No.6 保有耐力接合を満足していません。(Mu、αMpc)」のメッセージが出力される	1851
	横補剛を満足しているのにWARNING No.605 が出力される	1846
	WARNING No.806 柱の軸方向力が引張耐力の0.75又は圧縮耐力の0.55を超えている	1834
	WARNING No.805 耐震壁でτ/Fcが0.25を超えている部材がある	1833
	WARNING No.798 溶接作業性に劣り降伏後の変形性能が保証されないSN400Aを使用した	1832
	WARNING No.791 軸方向応力度がコンクリートの設計基準強度の0.35倍を超えているRC部材(柱)がある	1831
	WARNING No.782 入力Tから算出したRtが内部計算したTから求めたRtの3/4を下回った。内部計算値を使用	1830
	「WARNING No.663 延長長さが必要延長長さを下回っている」	1829
	「WARNING No.664 付着応力度が許容付着応力度を超えている」	
	WARNING No.662 1/4位置または3/4位置において残りの鉄筋の引張応力度が許容応力度を超えている	1828
	WARNING No.661 付着長さが必要付着長さに部材有効せいを加えた長さを下回っている(1/4・3/4)	1827
	「WARNING No.604 たわみがスパンの1/300を超えている」が表示されない	1823
	WARNING No.563 短期設計用曲げモーメントが許容曲げモーメントを超えている	1822
	RC梁で「WARNING No.555 コンクリート全断面積に対する主筋全断面積の割合が、0.8%未満である」が出力される	1821
	WARNING No.553 設計軸力が許容軸力を超えている	1820
	WARNING No.494 応力用特殊荷重の指定作用部材と荷重タイプが一致しない	1819
	WARNING No.489 著しい不均衡が生じています	1818
	WARNING No.440 柱・剛域が部材長の1/2を超えている	1817
	WARNING No.439 梁・剛域が部材長の1/2を超えている	1816
WARNING No.403 S造のルート1指定で、Co≧0.3となっていない	1815	
WARNING No.351 床面が正しく認識できない。水平面として床荷重を計算します	1814	
WARNING No.343 剛性に評価されない壁(12cm未満)が配置されている	1813	
WARNING No.127 本工法の適用軸力を超えています。(N<-0.2×柱降伏引張軸力)	1812	

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『SS3』	(WARNING)	(一)	WARNING No.110 Q_u 算定の適用範囲を超えています。 $2.7\sqrt{(P_w \cdot \sigma_{wy}) \cdot b_e \cdot r_J \cdot l_e} \leq \text{rat} \cdot r \cdot \sigma_y \cdot r_{do}$	1811
		WARNING No.109 Q_u 算定の適用範囲を超えています。 $\sum S_i \cdot a_{wy} \cdot r \cdot \sigma_{wy} \leq \text{rat} \cdot r \cdot \sigma_y \cdot r_{do}$	1810	
		WARNING No.103 保有耐力接合を満足していません。(Mu、 α Mpc) (ベースバック)	1809	
		WARNING No.21 S梁断面算定結果がないため、横補剛間隔のチェックが出来ません	1808	
		WARNING No.7 メカニズム時の応力が柱脚終局せん断耐力を超えています。(Qu、Q)	1807	
		WARNING No.5 アンカーボルトの応力が許容値を超えています(TとQのベクトル)	1806	
		WARNING No.3 Y(X)方向の柱脚耐力が存在しないため、X(Y)方向と同じ値とします	1805	
		WARNING No.3 鉄骨ブレースの有効断面積が入力されていないため、引張応力度比の計算はできません	1804	
		WARNING No.3 せん断応力が許容摩擦力を超えています。せん断力をアンカーボルトに負担させました	1803	
		WARNING No.451 耐震壁周りの梁の断面2次モーメントが $32768 \cdot 10^9 \text{cm}^4$ を超えている	1678	
		WARNING No.484 標準柱にS部材を指定した	1677	
		WARNING No.372 節点のない箇所に、節点補正重量を入力した	1676	
		WARNING No.26 $\beta_u \leq 0.7$ でRC造FD柱があります	1675	
		耐震壁の断面算定のPsに対するメッセージについて	1674	
		WARNING No.473、485、486 Dw'が計算できない	1673	
		「WARNING No.341 開口のデータが不正である。」について	1502	
「WARNING No.35 保有水平耐力時の層間変位がDs算定時の層間変位を超えています」について	1464			

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『SS3』	作図	—	部材の中間に回転荷重を作用させたところ、想定したM図とならない	2199
			層せん断力-変形角曲線(Q- γ 曲線)を出力したい	1764
			3D作図と結果出力の応力値が異なる	1763
			σ_o/F_c が出力されない	1762
			印刷時に出力される日付やページ番号を省略したい	1761
			3D作図で断面算定の検定比が表示されない	1760
			ひび割れステップ数が-999と表示される	1759
			作図のQ- δ 曲線の数値データを印刷したい	1758
			応力図(保有水平耐力用)の破壊形式の記号について	1757
			M-N耐力曲線を確認したい	1756
			3D作図で部材ごとに結果を表示したい	1755
			作図の文字サイズを変更する方法	1754
		構造計算書	構造計算書出力	
	断面リストに出力されない梁、柱がある			2238
	構造計算書の「GLの高さ」が変わっていない			2212
	解析結果の出力と構造計算書の対応について			2197
	構造計算書の日時が更新されない			2168
	[構造計算書出力]に出力される日時について			2083
	断面リストでH形鋼柱が“I”と出力される			2081
	表紙の「建築設計事務所」などを入力したい			2080
	[構造計算書出力]と結果出力の「応力図」で応力値が異なる			1765
	[構造計算書]の延べ面積が変わらない			1751
	[構造計算書出力]の応力図のスケールを変更したい			1738
	構造計算概要書の出力方法について			1692
	構造計算書出力のルート判定表について			1671
	構造計算書の表紙に表示される“ID”について			1473
	「構造計算書出力」の断面算定出力で、全部材出力されない			1466
	構造計算書出力でページ数が出力されない			1465
	構造計算書のヘッダーに大臣認定番号、性能評価番号が表示されない			1463
その他	—		テキストブラウザの検索履歴を消去したい	2295
			Windows 7への対応について	2215
			解析を途中でストップさせたい	2207
			デフォルトデータとして保存可能なデータ	2082
			「SS-3'はファイル名にふさわしくありません」について	2079
			解析項目を未解析にしたい	2078

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『SS3』	(その他)	(一)	保有耐力計算を途中でストップさせたい	2077
		登録済みの鉄骨鋼材データをコピーしたい	2011	
		物件データのコピーを作成したい	1964	
		剛性低下率の転送の α について	1919	
		よく使う鉄骨鋼材データを保存したい	1871	
		“読み取り専用になっています”について	1843	
		個別で出力指定した部材が出力されない	1717	
		断面リスト編集の表を貼り付けたい	1715	
		マウス入力でのファンクションキーについて	1707	
		『SS3』の物件データのアイコンについて	1587	
		Windows Vistaの環境で[11.1支点の状態]の入力後スクロールバーの▲をクリックすると不正終了する	1526	
		利用者証明書について	1492	
		重力単位系で入力している『SS2』データをSI単位系に変換する方法	1470	
		『SS2』のデータを『SS3』で使用方法について	1469	
		大臣認定書・性能評価書について	1468	
『SS3』のチェックリストについて	1467			

カテゴリ	タイトル	文書番号
『BF1』	入力	—
	跳ね出し長の入力について	2347
	べた基礎の接地圧検討を分割して行うことができますか？	2331
	オフセットの入力について	2245
	伏図データ配置の範囲指定	2164
	“フーチングに曲げを考慮する”が指定できない	1581
	偏心(転倒)モーメントが0(ゼロ)と表示される	1580
	複数登録した地盤データが削除される	1579
	高強度せん断補強筋について	1578
	『BF1』に読み込んだ『SoilBase』データの再生方法について	1577
	『BF1』のデータが自動更新されない。	1576
	『SS3』と『BF1』を連携使用する場合の操作手順について	1575
	基礎床Noが入力できない	1574
	[杭登録—支持力計算—地盤データ—杭自重]が0になる	1573
	[伏図データ配置—軸力]に表示される「L'、EX+'、EX-'、EY+'、EY-'」について	1572
	土質柱状データの作成を指定できない	1571
	解析方向別に有効となる布基礎を指定したい	1487
	偏心、杭頭曲げによる付加軸力の確認について	1485
	地盤反力係数(kh)算定時の定数(α)の使い分けについて	1483
	杭頭変位が1cmを超えた場合の計算を行いたい	1480
	「SoilBaseのデータを採用していません」のメッセージが表示される	86
	“フーチングに曲げを考慮する”が指定できない	63
	複数登録した地盤データが削除される	61
	高強度せん断補強筋について	60
	『BF1』に読み込んだSoilBaseデータの再生方法について	59
	杭本数が入力できない	58
	杭頭—基礎梁心の(Q・h)増分の考慮がされない	57
	既製杭の登録について	56
	入力したへりあきが反映されない	55
	BF1のデータが自動更新されない	54
	杭の引き抜き力の計算について	53
	杭頭モーメント、偏心による付加軸力の考慮について	52
	杭基礎形状が入力できない	51
	『SS3』と『BF1』を連携使用する場合の操作手順について	50
基礎床Noが入力できない	49	
[杭登録—支持力計算—地盤データ—杭自重]が0になる	48	

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『BF1』	(入力)	(一)	水平力を負担しない杭を指定したい	47
		杭自重算定時の排土重量の考慮方法	46	
		杭ごとに杭頭固定度を入力する方法	45	
		パンチングシャーの検討で「---」と表示され検討されない	44	
		地盤反力係数(kh)の直接入力	43	
		[伏図データ配置一軸力]に表示される「L'、EX+'、EX-'、EY+'、EY-'」について	42	
		土質柱状データの作成を指定できない	41	
		非対称基礎の配置方向を変更したい	40	
		[既製杭リストの登録]が指定できない	39	
		計算	—	基礎設計用軸力について
【検証例】杭基礎断面算定の設計Md、設計Qdの計算方法について	2309			
短杭としての検討について	2299			
長期の付加曲げが0になる	2242			
布基礎の底面積が手計算と一致しない。	2221			
液状化の検討について	1582			
粘性土地盤で $\alpha = 60$ にならない	2223			
『SS3』で入力した基礎自重の扱いについて	1945			
杭施工誤差の考慮について	85			
独立フーチング基礎の支持力計算ができない	83			
液状化の検討について	82			
場所打ち杭の引き抜き力の計算について	81			
杭設計用軸力について	80			
偏心距離の計算方法について	79			
TB杭の接合部の設計にコンクリート強度が反映されない	78			
液状化によるkh(水平地盤反力係数)の低減値が考慮されない	77			
杭長さ径比による許容支持力の低減値について	76			
摩擦杭の支持力検討結果が表示されない	75			
quが自動計算されない	74			
シルト層の摩擦が考慮されない	73			
多層地盤の杭の応力計算について	71			
杭頭固定度を入力し計算したが応力が“0(ゼロ)”となる	70			
『SoilBase』の土質の認識について	69			
Kh(水平地盤反力係数)算定時のN値について	68			
場所打ちコンクリート杭の短期許容せん断力(Qas)について	67			
場所打ちコンクリート杭の許容Qaの値について	66			

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『BF1』	(計算)	(一)	杭頭補強筋について	65
			水平地盤反力係数(kh)が0(ゼロ)になる	64
	出力	—	Mo・Mmaxが“---”と出力される	2310
			「杭長が10m以下になっています。」について	2342
杭体Naの値が表示されない			2224	
杭基礎の断面算定結果が出力されない。			2174	
荷重ケース毎の接地圧検討結果の確認について			1484	
杭頭接合部選定計算の設計杭径について			1471	
エラーメッセージの確認方法			96	
曲げを考慮した接地圧が大きい			95	
先端支持が0になる			94	
支持力検定比が出力できない			93	
接合部選定結果を出力できない			92	
必要主筋量が“---”と出力される			91	
「曲げ応力が大きいため処理できません」			90	
σ MAXと σ の値が異なる			89	
基礎梁への曲げ戻し応力が0になっている			88	
kh、 β 、 β Lが出力されない	87			
ERROR	—	「曲げを負担できない基礎がある」	2259	
		形状認識が正しくない	2163	
		BF1の計算結果データに対象となる基礎梁データがありません	2084	
		SS3物件フォルダ****はべた基礎です。計算の対象外です	2075	
		エラーメッセージの確認方法	1583	
		「GSVデータへの書き込みに失敗しました」について	1472	
作図	—	隅切り形状が作図されない	2066	
		入力した形状を確認したい。	1488	
		基礎梁応力図の荷重ケースについて	100	
SoilBase	—	一度入力した「土質記号」を削除したい	105	
		土質記号の入力方法について	104	
その他	—	粘性土と砂質土の判別方法	2346	
		『SS3』へリンクした基礎梁応力の確認方法	2074	
		べた基礎の地中梁が長期応力で降伏する	1952	
		傾斜角 θ の初期値について	114	
		”Preset“と”Preset2“について	111	
		「未知のバージョンのファイルです」	110	

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『BF1』	(その他)	(一)	設計例のサンプルデータが欲しい	109
			初期値にする方法	108
			既製杭リストに登録したデータの移動方法	107
			[選定配筋の読込]が指定できない	106
	リンク	—	保有水平耐力計算への考慮について	2312
			『SS3』からリンクする終局時の軸力について	2300
			直接入力した杭頭曲げが『SS3』にリンクされない	2067
			地盤Noがマイナス符号となる	1953
			「基礎梁の追加応力表」の接地圧がすべて0(ゼロ)になる	101

カテゴリ	タイトル	文書番号	
『WRC』	入力	壁・曲げ補強筋・フレーム外雑壁 開口補強筋を変更したい	1401
		フレーム外雑壁が配置できない	1368
		耐力壁の実長を確認したい	1365
		同じ壁厚で配筋が異なる部材を登録したい	1358
		開口際の曲げ補強筋を入力したい	1350
	壁梁・基礎梁	ミラー配置の指定ができない	2198
		腰壁を含む壁梁になっていない	1416
		部分地下形状に基礎梁を配置できない	1409
		基礎梁を下端揃えで入力する方法	1407
		雑壁により分かれた壁梁を1本に扱いたい	1397
		1FLの壁梁と基礎梁の違いについて	1392
		2段筋の径を変更したい	1367
		2段筋の入力方法	1342
	開口・開口包絡	1枚の壁に複数の開口を配置したい	2069
		開口の距離の入力について	1384
		開口包絡の選択解除の使用方法	1369
		開口包絡の解除方法について	1363
		既に配置済みの開口を他の壁にも配置したい	1348
	床・小梁・片持ち床・片持ち梁	3辺固定や2辺固定の床を配置したい	1398
		小梁を配置すると建物総重量が軽くなる	1391
		片持ち床の登録方法について	1388
		2次小梁、3次小梁の配置をしたい	1382
		小梁の間隔について	1378
		小梁個別詳細設定の押さえについて	1377
		出の長さが異なる片持ち床を配置したい	1375
		基礎スラブ層に床を配置したい	1362
		一部吹き抜けになる床の入力について	1352
		小梁の間隔を変更したい	1343
	支点	L字形コーナーの支点のモデル化について	2183
		配置した支点の位置を調整したい	1415
		支点を解除(フリー・自由に)したい	1413
		壁脚支点の自動認識を行うについて	1412
		支点を配置しても不安定架構になる	1410
		支点の配置について	1408
	荷重・土圧・パラペット	パラペットの仕上げについて	2237

カテゴリ	タイトル	文書番号	
『WRC』 (入力)	(荷重・土圧・パラペット)	小梁の特殊荷重を登録する際のi端、j端について	2211
		基礎スラブ層の床に積載荷重を配置したい	2210
		節点位置に特殊荷重を作用させたい	2206
		壁土圧・水圧配置の指定ができない	1411
		梁標準仕上リストは小梁にも考慮されるか	1402
		リブ先端に特殊荷重が配置できない	1396
		片持ち床(バルコニー)の先端に手摺り荷重を配置したい	1395
		壁、壁梁、片持ち梁に特殊荷重を登録する際のi端、j端について	1393
		仕上げ登録の厚さについて	1390
		床仕上登録について	1386
		異なる形状のパラペットを配置したい	1381
		特殊荷重(梁・壁)の位置の負値入力について	1376
		ある部材だけ仕上げなしにしたい	1371
		ある開口だけ開口重量をなしにしたい	1370
		特殊荷重リストから登録した特殊荷重を削除したい	1361
		積雪荷重を考慮する方法について	1345
		特殊形状・階・フレーム	両方向からセットバックする形状の入力について
	フレームの余長を変更したい		1400
	軸振れの指定をするとフレームの余長が斜めになる		1380
	通り名(フレーム名)を入力したくない		1359
	通り名(フレーム名)を変更したい		1357
	階を追加したい		1355
	階を削除したい		1354
	フレームを追加したい		1353
	GLから1階床までの高さを変更したい		1349
	フレーム名の表示位置を変更したい		1347
	節点の上下移動を入力したい		1344
	スパン長を変更したい	1340	
	計算関係・その他	出力項目が指定できない	1418
		内法長さが***m以下の壁梁は断面検定を省略するが有効にならない	1417
		部材リストのセルが黄色で表示されている	1406
		結果出力の部材リストの項目に指定できない項目がある	1405
		雑壁のn値の入力について	1404
		指定した出力項目を他の物件でも指定したい	1403
		計算条件のデフォルトを変更したい	1399

カテゴリ		タイトル	文書番号
『WRC』	(入力)	(計算関係・その他)	
		基礎梁レベルの入力について	1394
		絶対座標の基点 (0, 0) について	1389
		部材の削除方法について	1387
		スラブ天から構造心までの距離の入力について	1385
		エラー・ワーニングメッセージを確認したい	1383
		断面検定にねじれ補正係数を考慮したくない	1379
		壁柱の設計用せん断力の決定方法について	1374
		加力方向を指定したい	1373
		壁断面積の補正值の入力について	1372
		部材No.を確認したい	1364
		概要で入力した内容を他のデータで流用したい	1360
		範囲指定を斜めにしたい	1351
		特定のフレームを解析対象から外したい	1346
		躯体配置ができない	1341
計算	—	壁・壁梁・基礎梁に特殊荷重を配置した場合の認識	2294
		「破壊形式」の壁梁 $b\mu'$ の算出方法について	2292
		耐力壁の P_w が1.2%を超えた場合の許容せん断耐力について	2254
		壁梁の P_w が1.2%を超えた場合の許容せん断耐力について	2255
		[交差部曲げ補強筋配置]で交互配筋を指定した場合	2236
		土圧を考慮した接地圧について	2233
		壁の dt について	2214
		床の dt について	2213
		直交壁の厚みを考慮して開口配置した場合の壁・支点の認識について	2182
		自動認識する支点について	2181
		剛床仮定の解除について	1310
		層間変形角算定時に採用する階高について	1309
		耐震壁周りの基礎梁の剛性について	1308
		壁梁断面検定の $0.004bd$ の検討について	1307
		壁量算定時の片持ち床・出隅の面積について	1306
		小さな開口を入力した場合の壁の認識について	1305
		鉄筋コンクリートの単位重量について	1304
		サーチャージ重量の考慮について	1303
		壁量の $\sum(lw \cdot t / t_o) \geq A \cdot L_{wo}$ かつ $L_w \geq L_{wm}$ の検討式について	1302
		節点の上下移動した場合の壁梁の認識について	1301
		壁梁のスターラップを増やしても長期許容せん断力が変わらない	1300

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『WRC』	(計算)	(一)	地震力を求める高さ(h)について	1299
		壁厚の規定を満たさない壁の壁量計算について	1298	
		梁標準仕上げリストについて	1297	
		標準開口重量について	1296	
		壁梁の終局時設計用せん断力計算時のFesolについて	1295	
		交差部の曲げ補強筋の本数と径について	1294	
		耐力壁の長さについて	1293	
		解析対象から外したフレームの壁量について	1292	
		鉛直荷重時軸力がマイナスになる	2192	
	出力	—	積雪荷重時の短期の組み合わせ応力の確認方法について	2193
			「特殊荷重配置」の表示と壁特殊荷重について	2185
			支点をフリーにした節点の変位の確認方法について	1592
			「支点反力」とサーチャージについて	1591
			壁の実長と「壁柱断面検定」結果の壁長さが異なる	1588
			断面検定結果を省略したい	1451
			壁量に“*”が出力されている	1450
			支点反力図の出力について	1449
			断面検定比図の出力方法について	1448
			出力結果の文字が重なる	1447
			水平剛性が0.00となるフレーム外雑壁がある	1446
2段筋の主筋の表示について			1445	
部材配置図などに出力されるの片持ち床の横の番号について			1444	
[保有水平耐力－破壊形式]の「0-----0」、「-----」の意味について			1443	
必要壁厚1、必要壁厚2について			1442	
「部材配置図」に一部の壁が表示されていない			1441	
基礎梁断面検定のOTの出力について			1440	
「軸力図」の床割りの線の色を濃くしたい			1439	
MAS(許容曲げ応力)が0(ゼロ)になる			1438	
接地圧図のL、Rについて			1437	
「構造モデル化図(軸組形式)」の出力に壁の実長の出力がされていない			1436	
壁柱の軸力値について	1435			
$\sum 2.5A_w + \sum 0.7A_c \geq ZW_i \beta$ の出力結果について	1434			
接地圧を考慮した応力の確認方法	1433			
壁梁断面検定出力の部材No.について	1432			
「基礎・地盤－CMoQo表」の接地圧について	1431			

カテゴリ		タイトル	文書番号			
(『WRC』)	(出力)	(一)	符号まとめた断面検定の出力方法	1430		
			総曲げ抵抗モーメントが一致しない	1429		
			「長期応力」の結果の応力位置について	1428		
			ねじれ補正係数について	1427		
			梁符号が表示されていない	1426		
			検定結果の壁厚の値について	1425		
			画面に表示したままの状態で架構を印刷したい	1424		
			基礎梁の断面検定結果を出力したい	1423		
			支点反力の結果について	1422		
			壁梁の端部に応力が発生する	1421		
			曲げ補強筋の径が変更されていない	1420		
			入力した壁梁せいが有効にならない	1419		
			ERROR・WARNING	ERROR	ERROR No.41 保有水平耐力の検討を行っていません。	2345
					「ERROR No.1 RFL 層の床面積が0.0となっているため、#階の壁量・壁率が計算できません。」	2298
「ERROR No.24 設計応力が許容耐力を超えている壁梁があります」が出力されたが、該当部材がない。	1317					
ERROR No.3 支点が有りません	1316					
偏心率、剛性率のエラーについて	1315					
WARNING	「WARNING No.8 壁軸力が下階に正しく伝達されていません」について	2196				
	「Warning No.111 全域を有効に支えられない耐力壁があります。」について	1593				
	Warning No.201 壁または梁に支えられない耐力壁があります	1328				
	「WARNING No.810 設計応力が許容耐力を超えている壁梁があります、WARNING No.811 設計応力が終局耐力を超えている壁梁があ	1327				
	WARNING No.206 床割り計算が正しくできなかった床があります	1326				
	WARNING No.521 境界梁応力の再配分で再配分した応力が元の応力の20%を超える壁梁があります	1325				
	WARNING No.912 崩壊メカニズムを形成していない時点を終局状態としています	1324				
	WARNING No.32 内法高さがいないため、 $dQ_u = Q_L + \alpha \cdot F_{eso} \cdot Q_E$ とします	1323				
	WARNING No.31 内法高さがいないため、 $dQ_s = n \cdot Q_E$ とします	1322				
	WARNING No.1 複数の異なる断面リストを使用しています	1321				
	WARNING No.7 断面の異なる梁を1部材として認識しています	1320				
	壁梁断面検定でpwについてのWARNINGメッセージが出力される	1319				
	偏心率、剛性率のワーニングについて	1318				
	作図	—		耐力壁まわりの基礎梁の応力を確認したい	1314	
				通り名の文字サイズを変更したい	1313	
応力解析時の架構形状を確認したい			1312			
フレーム外雑壁を指定した際に表示される赤丸について			1311			
その他	—	プログラム起動時に表示されない物件データがある	1339			

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『WRC』	(その他)	(一)	『WRC』のチェックリストについて	1338
			評価取得、大臣認定書、評価書、指定書について	1337
			計算結果CSV出力の出力ファイル名と出力先について	1336
			ヘルプの表示方法について	1335
			[躯体配置]の平面図・立面図でピンク色に表示される部材について	1334
			データのファイルサイズを小さくしたい	1333
			データのコピーや、入力データのみを保存する方法について	1332
			物件ファイルのバックアップが作成される場所について	1331
			データを削除したい	1330
			コントロールバーを表示させたい	1329

	カテゴリ	タイトル	文書番号	
『RC診断2001』	入力	建物規模	各階床面積の入力について	2028
			建物重量の入力について	391
		耐震診断方法	3次診断が指定できない	407
			“柱の検討方向と直交する耐震壁の η_r 及び η_R は、その壁自身の破壊形式より決定する”が指定できない	402
		壁の配筋／雑壁の追加	壁の配筋で丸鋼と異形鉄筋を混在させる場合の入力について	2052
			壁配筋を断面積入力する際の鉄筋径について	406
		鉛直部材の直接入力	鉛直部材の直接入力で、フレーム外雑壁(雑壁)に対して入力する番号について	2059
			ブレース耐力の直接入力について	413
			連スパン耐震壁の Q_u の直接入力について	395
			鉛直部材の直接入力で入力した値を消去したい	394
			地震時付加軸力を未入力に戻したい	393
			地下階のあるデータを利用した場合の鉛直部材の直接入力について	392
		地震時付加軸力	『SS3』からリンクされる地震時付加軸力について	2018
			地震時付加軸力で“解析結果の利用”が指定できない	2032
			地震時付加軸力の更新について	2022
		増設ブレース	[増設ブレース]の画面上のアンカー、スタッド、ブレース単体の耐力が表示されない	2057
		その他	『SS3』で入力した厚さ10cm以上の雑壁を考慮したい	2301
			軸力に概算軸力を用いたい	2026
			RC造とSRC造の混合建物の診断を行いたい	2021
			柱の内法寸法(h_o)を変更したい	2020
			耐震壁にならない壁を耐震壁にする方法	2019
			第2種構造要素に関する出力が指定できない	416
			再配分軸力の伝達先を指定したい	415
	入力単位系をSI単位にしたい		410	
	雑壁の耐力を無視したい		408	
	「表紙」や「耐震性能診断表」に出力される建物の名称や場所を入力したい		398	
	計算		1次診断	耐力に考慮する雑壁の条件について(1次診断)
		1次設計における柱の強度指標 G_c が手計算と異なる		344
		強度指標算定時における連スパン耐震壁の A_w について		342
		2・3次診断	高強度せん断補強筋の扱いについて	2222
			3次診断における壁の外力分布形の算出方法について	2289
			曲げ柱の靱性指標 F の算出方法について	2291
			耐震壁(両側柱付壁)の Q_{su} 算定時に乗じる開口による低減率 γ について	2200
			『SS3』で入力した柱の寄筋の対応について	2152
			耐力に考慮する雑壁の条件について(2・3次診断)	2151

カテゴリ	タイトル	文書番号	
『RC診断2001』 (計算)	(2・3次診断)	曲げ耐力の計算で引張側の袖壁を考慮している	371
		連スパン耐震壁の Q_{su} の計算について	369
		壁の直交梁の考慮について	368
		F値を直接入力した場合の強度寄与係数 α について	367
		2、3次診断の雑壁の τ_{ul} について	366
		出力項目によって R_{my} が異なる	358
		袖壁増設の低減係数 ϕ が考慮されない	357
		梁配筋が未入力の状態での2次診断	356
		完全塑性理論(ピース分割)による計算内容について	353
		(4)式のC2(又はC3)の集計結果が異なる	349
		「鉛直部材の諸元(軸組)」と「グループ単位の各種柱・壁ごとの Q_u とF指標」のTotalが異なる	348
		hcwoが手計算と異なる	347
		柱 μ の計算において直交壁が考慮されない	346
		「袖壁付柱の終局せん断強度」において b_e が手計算と異なる	345
		第2種構造要素	梁支配型柱の η_r 、 η_R について
	増設ブレースを配置した場合の第2種構造要素の検討について		370
	$F_u=1.0$ 、 1.27 、 2.0 、 3.0 以外の $\eta_r(\eta_R)$ について		354
	形状指標	形状指標(SD)を求める際のフレーム外雑壁の α 値について	2296
		増設ブレースの形状指標への考慮について	364
		『耐震診断』と『RC診断2001』の剛性が異なる	361
		形状指標(SD)を求める際の h と l について	350
		形状指標SDが1.0以上になる	341
	その他	フレーム倍率の算出方法について	2290
		鉄筋径を断面積入力した際の材料強度について	2144
		隅切り部分の耐震壁の考慮	2143
		柱の内法高さが正しく認識されない	2142
		フレーム外雑壁の h_w について	2060
		傾斜地に建つ建物の重量を低減したい	2058
		フレーム倍率が考慮されない	2056
		[低強度コンクリートに対する低減係数]で指定した低減係数について	365
		柱の内法高さが正しく認識されない	363
		偏心率が0.15を超える場合の検討について	362
		両側袖壁付きの場合の[袖壁を考慮する長さの下限値]について	360
		『US2(改)』データ利用時における A_i 分布の逆数の計算方法	351
		連スパン耐震壁の開口による低減率 γ について	343

カテゴリ		タイトル		文書番号
『RC診断2001』	出力	1次診断	鉛直部材の諸元に出力されるA(断面積)が配置した断面と異なる	436
		2・3次診断	グルーピング以降の結果が出力されない	2244
			SRC部材の柱脚部を考慮した結果が出力されない	2305
			「雑壁配置」における“雑壁No.”と“フレーム外雑壁No.”について	2063
			$0.4 < pw$ の ηr (または ηR)が採用されない	453
			「柱軸力」が『SS2』の長期軸力と異なる	452
			梁のせん断余裕度に差が無いのにF値が大きく異なる	450
			「診断結果比較」と「Is算定時にグルーピングした組み合わせ結果」のIsが異なる	446
			回転壁と判定されているのに最上階の壁QuがPRと異なる	444
			「耐震性能診断表」に出力されるF値がFu値と異なる	443
			出力対象とするFu値の指定をしたが有効にならない	439
			「耐震性能診断表」に出力される(Nr < N)の数が変わる	435
			「耐震性能診断表」であるFu値における結果しか表示されない	434
			「グループ単位の各種柱・壁ごとのQuとF指標」と「グループ単位の各種柱・壁の α と αC 」が出力されない	432
			$h_o/D \geq 2.0$ であるにもかかわらず、極脆性袖壁付柱として認識される	430
			形状どおりのモデル化にもかかわらず柱頭と柱脚でQsu1が同じになる	427
		柱頭のMuが“----”と出力される	425	
		両側柱付き壁のQsu1において梁主筋が考慮されない	424	
		増設ブレース	「増設ブレースのF指標とQu」の出力でQsu1～Qsu4に*が付かない	451
	「増設ブレースのF指標とQu」の出力でBQuが0(ゼロ)になる		449	
	第2種構造要素	「軸力再配分の検討」の軸力が長期軸力と異なる	442	
		「柱部材の残存軸耐力と軸力支持能力」で $cNr + wNr \neq 0$ であるのにNr=0となる	441	
		残存軸耐力及び軸力支持能力が“----”と出力される	426	
	形状指標	入力データの形状指標の項目にSDの値が出力されない。	2191	
		「第2種構造要素の検討が必要な柱部材」においてNRが----で出力される	433	
		グレードが指定した数値と異なる	429	
		形状指標の直接入力反映されない	423	
	その他	「柱軸力」が『US2(改)』の長期軸力と異なる	2334	
		評価番号が出力されない	2145	
		入力した階数よりも少ない階数で診断される	2055	
		「柱軸力」が『SS3』の長期軸力と異なる	2053	
		『SS3』の[8.8基礎自重]の考慮について	2051	
		梁、柱符号が正しく認識されない	2050	
		雑壁(フレーム外雑壁)の軸力が0(ゼロ)になる	2048	
		US2データ利用で地震時付加軸力がゼロになる	447	

カテゴリ		タイトル	文書番号	
『RC診断2001』	(出力)	(その他)	出力指定をしていない加力方向に対するエラーメッセージが出力される	422
	ERROR・WARNING	ERROR	ERROR No.5 2次診断、3次診断を行う場合、壁について鉄筋の入力が必要です	2040
			ERROR No.26 柱の内法高さが0以下になっています	2039
			ERROR No.30 引抜き抵抗力又は圧壊耐力が指定されていないため、計算できません	2038
			ERROR No.5 2次診断、3次診断を行う場合、壁について鉄筋の入力が必要です。	1681
			計算途中の強制終了について	389
			ERROR No.67 独立柱と袖壁付柱が混在する吹き抜け柱であるため、計算できません	388
			ERROR No.63 柱軸力が軸耐力以上又は柱Qmuが0であるため、計算できません	384
			ERROR No.33 耐震壁の周りに柱が存在していません	383
			ERROR No.11 下層柱抜けがあります	382
			WARNING	WARNING No.131 長さが30cm以下、かつ、壁厚の3倍以下の袖壁が柱にとりついてます
	作図	作図	[作図]の必要C・F曲線の計算方法について	381
			[作図]の“補強用“の項目が指定できない	380
			作図のC-F関係図のIs値について	379
			「階とIs関係図」でIsが0(ゼロ)になっている	378
			C-F関係図上にC値(またはQu値)を表示させたい	377
			C-F関係図の目盛りを調整したい	376
			作図をSI単位で表示したい	375
			F値や破壊形式を作図で確認したい	374
	リンク・その他	リンク	丸柱(円柱)の置換方法について	2201
『SS3』で入力した柱個別のdtのリンクについて			2155	
一本部材の指定のリンクについて			1944	
多剛床の指定をしたデータの扱いについて			1943	
『US2(改)』データ利用におけるFeとFsについて			418	
その他		データを開く際に『SS3』のデータが表示されない	1947	

カテゴリ	タイトル	文書番号			
『耐震診断』	入力	—	柱の内法寸法(ho)を変更したい	2073	
		耐震壁にならない壁を耐震壁にする方法	2049		
		鉛直部材の直接入力で、フレーム外雑壁に対して入力する番号について	2047		
		地震時付加軸力で“解析結果の利用”が指定できない	2046		
		軸力に概算軸力を用いたい	2041		
		地震時付加軸力の更新について	2036		
		雑壁の耐力を無視したい	469		
		[雑壁の追加]で断面積入力する際の鉄筋径について	468		
		鉛直部材の直接入力で入力した値を消去したい	467		
		「表紙」や「耐震性能診断表」に出力される建物の名称や場所を入力したい	466		
		地下階のあるデータを利用した場合の鉛直部材の直接入力について	465		
		地震時付加軸力を未入力に戻したい	464		
		SRC造の建物で3次診断が指定できない	462		
		「データが未入力です」と表示される	461		
		連スパン耐震壁のQuの直接入力について	459		
		建物重量の入力について	457		
		計算	—	『SS3』で入力した柱の寄筋の対応について	2153
				入力した階数よりも少ない階数で診断される	2045
				多剛床の指定をしたデータの扱いについて	1939
				両側柱付壁の付帯柱に取り付く直交壁の有効長さ	1452
				脆性柱が存在しないのに(9)式でグルーピングされる	490
				偏心率が0.15を超える場合の検討について	489
				$sM_o/M_o \geq 0.3$ のせん断柱のF値が1.0となる	488
				形状指標SDが1.0以上になる	487
ho/DのDにそで壁長さが含まれていない	486				
軸力の検討におけるsA・Aceについて	485				
そで壁付柱と柱付き壁の区別について	484				
連スパン耐震壁のQsuの計算について	481				
直交壁の考慮が有効とならない	480				
袖壁付き柱のNcuが2次診断と3次診断で異なる	479				
回転壁の判定について	478				
袖壁付柱のN/bDFcにおけるbDについて	477				
梁配筋が未入力の状態での2次診断の計算	476				
袖壁の長さが45cm未満であるにもかかわらず“片側柱付壁”になる	475				
柱(充腹形)で柱脚RCとした場合のせん断終局強度(Qsu)の算定方法	474				

カテゴリ		タイトル		文書番号
『耐震診断』	(計算)	(一)	『US2(改)』のデータ利用時におけるAi分布の逆数の計算方法	473
			形状指標(SD)を求める際のhとlについて	472
			断面ピース内の鉄筋について	454
	出力	—	『SS3』で入力した梁主筋本数と異なる	2044
			第2種構造要素の検討の τ が“—”と出力される	2043
			梁、柱符号が正しく認識されない	2042
			柱なし壁の軸力が0(ゼロ)になる	1940
			US2データ利用で地震時付加軸力がゼロになる	504
			US2結果利用時における節点振り分けについて	503
			『US2(改)』結果利用時における危険断面位置 λL について	502
			鉛直部材の諸元とグルーピングした結果に出力される保有せん断力の総和が異なる	501
			鉛直部材の諸元に出力されるA(断面積)が配置した断面と異なる	500
			せん断梁支配型柱($sM_o/M_o \geq 0.4$ 時)のF値が基準値よりも大きい	498
			終局塑性率 μ が0(ゼロ)となる	497
			グレードが指定した数値と異なる	496
			形状指標の直接入力 that 反映されない	494
			『US2(改)』の柱 Q_u と『耐震診断』の柱 Q_{su} が異なる	492
			ERROR	—
	データを開く際にエラーが発生する	2035		
	ERROR No.26 柱の内法高さが0以下になっています	2034		
	ERROR No.63 柱軸力が軸耐力以上又は柱 Q_{mu} が0であるため、計算できません	2033		
	ERROR No.33 耐震壁の周りに柱が存在していません	1941		
	ERROR No.61 梁両端の降伏モーメントから求める付加軸力が計算できません	507		
	ERROR No.12 適用範囲外の壁配置があります	506		
	WARNING	—	WARNING No.116 長期軸力が柱内の鉄骨と鉄骨バンド内のコンクリートで支持できる終局軸圧縮力を超えています	515
			WARNING No.123 終局耐力の直接入力で、無効なデータがあります	514
			WARNING No.121 鉛直部材の直接入力で、無効なデータがあります	512
	リンク	—	『SS3』で入力した柱個別のdtのリンクについて	2156
			一本部材の指定のリンクについて	1942

「Q&A」閲覧方法

文章番号による検索方法

- ① [ログインする]ボタンをクリックし、ログインします。
- ② 「・文章番号から探す」入力欄に閲覧したい「Q&A」の文書番号を入力します。
- ③ [検索]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the USA Q&A website interface. At the top, there is a navigation menu with options like 'お知らせ', 'Q&A', 'ダウンロード', '活用ガイド', 'セミナー情報', and 'お問い合わせ'. Below the menu, there is a '現在位置' (Current Location) section showing 'トップページ > Q&A'. The main content area is titled 'Q&A' and includes a '更新日' (Update Date) and 'Q&A掲載数' (Number of Q&A posts). A yellow warning box indicates that the page is for software purchasers and requires login. On the right side, there is a '会員メニュー' (Member Menu) section with a 'ログインする' (Login) button circled in red and labeled ①. Below this, there is a 'Technique guide' link. At the bottom, there are two search sections: 'キーワードから探す' (Search by keyword) and '文書番号から探す' (Search by document number). The '文書番号から探す' section has an input field circled in red and labeled ②, and a '検索' (Search) button circled in red and labeled ③.